(C)河北新報社

文化

姜尚中 思索の旅 「1868～」〈29〉

第6章 選良たちの系譜 ③ 政治塾 漂う「物心一如」

南欧風の建物

県道30号戸塚茅ケ崎線沿いの神奈川県茅ケ崎市汐見台。凝ったアーチ形の門と、背後に聳える白亜の塔が印象的な建物、そこが松下政経塾である。門をくぐる者には、「明日の太陽」というタイトルのレリーフがひときわ目を引くに違いない。左に「力と正義」を表すひまわりを手にする男子像、右には「平和と愛」を表す鳩と女性像が浮き彫りになり、その下には「困難」を表すらしい雲が配されている。そして「黎明の鐘」を覆うドームまで36メートルの塔がそそり立つ。

塾という言葉から、松下村塾のような佇まいを思い描いていたが、そのイメージは見事に裏切られた感じだ。地中海の紺碧の海を見下ろすような南欧風の建物に、塾というより、古代アテネのプラトンの学園が思い浮かんできた。吉田松陰の松下村塾とプラトンのアカデメイア。和洋折衷というより、異種配合の雑種性によって付加価値を産み出すところが、「経営の神様」（松下幸之助）流なのかもしれない。

雑種性の印象

評論家の加藤周一氏は戦後、「雑種文化論」で一世を風靡したが、この雑種性こそ、政経塾に漲るエーテル（光を伝えるとかつて考えられた媒質）であり、光は言うまでもなく、経営の神様から発せられている。

政経塾は、あくまでも松下幸之助という、今でも半ば神話化された神様の作品なのだ。その神様に長年仕えた佐野尚見理事長に、建物の中を案内してもらった。神様の遺志を継ぎたい、そのレガシー（遺産）を後世に残したいという静かな使命感が、佐野氏の言葉の端々から伝わって来る。

館内の松下幸之助像や遺品、写真や語録、「塾是」や「塾訓」などのスローガンを眺めていると、「雑種性」の印象は益々、深まっていかざるを得ない。政治と倫理、経営と国家、修養と統治（ガバナンス）など、対立するか、緊張関係にあるものが、どこか「物心一如」のように融合しているかに見えるのだ。

そう言えば、私のような世代にとって馴染み深かった「ナショナル」も、今から思えばどこかで雑種混交的なニュアンスがしないわけではない。「明るいナショナル…みんな　家中　電気で　動く、明るいナショナル…」。三木鶏郎・作詞作曲、ダークダックスが歌う「ナショナル劇場」の歌は、今でも頭の片隅にこびり付いている。

松下政経塾を訪れた姜さん。奥には「黎明の鐘」がある塔がそそり立つ

「ココロ主義」

松下電器・電工が、東芝とも日立とも、さらにソニーやホンダとも違うのは、明らかにそこには、単なる家電製品を売るのではなく、家電を通じて「日本人らしさ」の風習、倫理的なニュアンスの生活スタイルを売るという、純粋に経済や市場の論理を超えたものへの嗜好が見え隠れすることである。「ナショナル」というブランドは、まさしくそれを象徴している。

とすれば、家電メーカーに「社是」があれば、塾にも「塾是」があり、そして国家にも「国是」があることになる。この意味で、そもそも経営の神様が政治や国家に口を挟むこと如何という問いそのものが愚問なのだ。主に経済にかかわる「ナショナル」「パナソニック」、主に倫理にかかわる「PHP」、そして主に政治にかかわる「松下政経塾」。これらはみな、どこか「物心一如」的な「ココロ主義」によって貫かれている。

人間本性の心の曇りを取り払い、「素直な」心で、物事の本性を掴み、然るべき行動をすれば、すべて成功への道が開かれている。この「ココロ主義」的な松下イズムこそ、政経塾に漂う「松下教」的な空気の正体なのかもしれない。

（カン・サンジュン、政治学者・熊本県立劇場館長）

リオから東京　4年後の五輪、何ができるか

デジタルアート集団代表――猪子　寿之

リオデジャネイロ五輪が閉幕した。4年後の東京五輪には何が可能なのか。国際的に活躍するデジタルアート集団「チームラボ」の猪子寿之代表に語ってもらった。

リオデジャネイロ五輪の開会式。プロジェクションマッピングで舞台床面の色や模様が変化し続けた

都内各地で開会式ショー　立体映像で競技体感

参加体験型への移行を

リオ五輪開会式のショーは、ブラジルの歴史をひもときながらも、文脈や背景を共有していない他国の人でも理解できる、素晴らしい作りだった。「プロジェクションマッピングだけ」といえるほど、競技場のあちこちに映像を投影するデジタルの表現が使われていた。

ただ、今回も20世紀と同じで観客は見ているだけの観賞型。競技場が舞台で、シーンごとに舞台美術や演者が入れ替わり、僕らはテレビや客席で観賞する。競技中継も同じ。

いのこ・としゆきさん　1977年生まれ、徳島市出身。2001年、東京大卒業と同時にチームラボを創業。世界各地に招かれ、大規模な展覧会を行っている。

世界では今、あらゆる分野で観賞型から参加体験型へのシフトが起きている。日本はその移行が遅い方だが、もしもシフトを進めて、2020年の東京で最初に新しいモデルを示せたら、尊敬され、価値はずっと残る。近代建築の塔の象徴はエッフェル塔で、後から高さで上回る塔ができても、その価値は変わらないのと同じように。

開会式は街全体に広げてはどうだろう。人の動きに反応して変化するデジタルアートを使ったショーを、場面ごとに都内各地に配置し、順番にテレビ中継すればいい。各場面の巨大アートを開会式後も残せば、期間中、人々は演者と同じ体験ができる。

聖火リレーも、聖火ランナーが近くを通ると、沿道や客席の人々が持つ疑似トーチが、自動的に点灯していったり、自分の疑似聖火を他の人にも付けてあげられたりする仕掛けを作ると、より一体感が味わえるだろう。

競技中継は、例えば100メートル走をホログラム（立体映像）で、別の競技場のトラックや路上に実寸大で映し出すことは現在でも可能だ。中継後も映像を繰り返し再生すれば、たくさんの人が選手の立体映像の隣を走って、速さを体感できる。

参加できて、観賞するだけの人も感動する。そういう可能性を五輪に限らず、どの分野でも模索するといい。

culture

春日大社で奉納音楽祭

式年造替記念 18、19日・奈良　さださんらが出演

第1回春日野音楽祭の開催を発表するさださん（右から2人目）ら＝東京都千代田区

奈良・春日大社の60回目の式年造替を記念し、18、19日に「第1回春日野音楽祭」が開催される。

境内での歌手、さだまさしさんのライブや、ギタリスト、押尾コータローさんの奉納演奏の他、JR奈良駅、奈良公園など市中心部を使って約1000人が参加するハーモニカ大合奏、ストリートライブや音楽ワークショップなどが行われる。

式年造替は1200年にわたって続く御殿の建て替えと御神宝の新調の祭典。音楽祭は音楽を神様に奉納する催しで、神域の御蓋山へ拝礼してから演奏する。さださんは「このような役を頂けて感激している。奈良にはタイムカプセルのようにさまざまなものが詰まっており、心や魂の古里のような気がする」と話している。連絡先は音楽祭事務局0742（27）7755。

短信

◆歌詞をテーマに仙台で「ポエトリー・カフェ」　コーヒーを片手に詩について語り合う宮城県詩人会主催の「ポエトリー・カフェ」が11日午後1時半、仙台市青葉区木町通2丁目のあきはビル4階、同会事務局である。

9月のテーマは「歌詞・菓子に囲まれて」。同会会員の藤川みちるさんがコーディネーターを務める。参加者は好きなCDや歌詞カードを持参して紹介したり、動画を視聴したりしながら、歌詞への思いを語る。

会員、非会員を問わず誰でも参加できる。菓子、コーヒー付きで参加費500円。連絡先は同会事務局022（205）8510。

調べやすさ追求し 第2版　類語検索辞典「シソーラス」

収録33万語 索引数4万に増強

大修館書店（東京）は、言葉を意味の近似によって組み分けた類語検索辞典「日本語シソーラス」の第2版を刊行した。2003年に出版された初版から、13年ぶりの改訂。編者の山口翼さんは、ほぼ独力で40年以上、類語分類に取り組んできたという。

版元によると、収録したのは類語辞典最大となる延べ33万語。索引数を約4万語に増強して調べやすさを追求した。担当者は「類語を通じて日本語の豊かさを伝えられたらうれしい。100年後も使われる辞典になってほしい」と期待を込めている。

類語検索辞典は、19世紀半ばに英国で刊行された「ロジェのシソーラス」が先駆けで、広く愛用されたが、編さんは難しいとされる。本書は名詞や形容詞といった品詞による分類にこだわらず、「躊躇う」の語群には「躊躇」のほか「思い休らう」「思い切り悪く」などが並んでいる。

日本語の幅広い使用実態も反映しており、100以上の語句を収録した「美しい」の類語には「幽玄」「典雅」といった難しい言葉とともに「まぶい」「いかす」も取り上げている。

短い言葉で豊かに表現する俳句の愛好家に向けて、季語の分類も約3万語と大幅に増やした。16200円。

大修館書店が刊行した「日本語シソーラス」の第2版

県からのお知らせ

©宮城県・旭プロダクション

※日程や申し込み方法など、各お知らせのより詳しい内容は㊐にお問い合わせください。アドレスを掲載しているお知らせは、ホームページにも詳しい情報があります。
※東日本大震災に関する各種制度および相談窓口などの情報は、データ放送（NHK総合、ミヤギテレビ）で配信しています。

宮城大学 特別選抜AO入試出願受付

宮城大学では、新たに全学群で、学びに対する意欲や資質を評価するAO入試を実施します。
●募集要項・出願様式／下記にて配布※郵送などを希望される場合の請求方法は、下記ホームページをご覧ください。
●出願期間／9月16日(金)～23日(金)(消印有効)
㊐ 宮城大学アドミッションセンター
〒981-3298 大和町学苑1-1
☎022(377)8333
http://www.myu.ac.jp/site/exam/
㊐ 県私学文書課 ☎022(211)2295

臨時福祉給付金、障害・遺族年金受給者向け給付金

消費税率引き上げなどに際して、所得の少ない方々の負担を緩和するため、給付金が支給されます。
【臨時福祉給付金】
●対象／平成28年度分の住民税が課税されていない方
●支給額／一人につき3000円
【障害・遺族年金受給者向け給付金】
●対象／平成28年度分の住民税が課税されていない方のうち、障害基礎年金または遺族基礎年金を受給されている方
●支給額／1人につき3万円
※申請受付期間や詳しい支給要件などは、各市町村の案内などをご確認ください。
㊐ 県社会福祉課 ☎022(211)2519

宮城県芸術祭ピアノコンクール受賞者によるガラコンサート

●内容／第52回宮城県芸術祭ピアノコンクール受賞者9人による演奏と、過去のピアノコンクール受賞者2人によるゲスト演奏
●日時／9月17日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
●会場／日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)コンサートホール
●入場料／1000円
㊐ 宮城県芸術協会 ☎022(261)7055
㊐ 県消費生活・文化課 ☎022(211)2527

消防設備士試験(全種類)

●試験日／11月5日(土)
●場所／東北大学川内北キャンパス
●出願／9月13日(火)～23日(金)に郵送(消印有効)により下記センターへ
●願書／下記および主な消防署などで配布
※一部の申請を除き電子申請も可能です。
㊐ 消防試験研究センター宮城県支部
☎022(276)4840
〒981-8577　仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
県仙台合同庁舎5階
http://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/04miyagi/
㊐ 県消防課 ☎022(211)2374

弁護士による交通事故相談

県では、交通事故被害者やその家族が抱えるさまざまな悩みや問題の解決に向けて、弁護士が指導や助言を行う、交通事故相談窓口を設置しています。料金は無料ですが、事前に予約が必要です。詳しくは、下記へお問い合わせください。
●場所／県庁1階交通事故相談室および県各合同庁舎県民サービスセンター
㊐ 県総合交通対策課 ☎022(211)2438

障害者雇用支援のつどい

●内容／障害者雇用優良事業所および優秀勤労障害者の知事表彰、講演など
●日時／9月20日(火)午後1時～3時30分
●場所／ホテル白萩(仙台市)
●費用・申し込み／無料・不要(入退場自由)
㊐ 県雇用対策課 ☎022(211)2772

みやぎの農産物直売所などでスタンプラリー開催中！！

県内の農産物直売所や農漁家レストラン、農漁家民宿を巡るスタンプラリーを開催しています。期間中に参加店舗5カ所以上のスタンプを集めて応募すると、抽選で200人に「みやぎの農産物セット」が当たります。この機会に、ぜひ新鮮でおいしい農産物を味わってください！
●開催期間／12月9日(金)まで
㊐ 県農産園芸環境課 ☎022(211)2844

流域下水道まつり

●内容／暮らしを支える下水道の仕組みについて、施設見学など楽しいイベントを実施しますので、ぜひご来場ください。
●日時／10月1日(土)午前9時30分～午後2時30分
●場所／石巻浄化センター
※駐車場有り、小雨決行
●費用／無料
㊐ アイ・ケー・エス ☎0225(94)1994
㊐ 県下水道課 ☎022(211)3142

中学校卒業程度認定試験

何らかの理由で義務教育諸学校に通えなかった人などが、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するための試験を行います。合格者には、高等学校の入学資格が与えられます。
●試験日／10月27日(木)
●試験会場／県庁904会議室
●出願期間／9月9日(金)(消印有効)まで
●出願先／文部科学省生涯学習推進課
●受験案内／下記および県各教育事務所などで配布
㊐ 県義務教育課 ☎022(211)3642

県議会9月定例会開会

9月14日(水)午後1時から、9月定例会の本会議が開会される予定です。本会議や委員会は傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。
【ラウンジコンサート(開会初日)】
●日時／9月14日(水)午後0時15分～45分
●出演／若林オカリナの会
●曲目／小さな木の実、水色のワルツ ほか
㊐ 県議会事務局総務課 ☎022(211)3571
http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/

平成29年度および30年度建設工事入札参加資格審査申請の受付

平成29年度および30年度に県が発注する建設工事への入札参加を希望される事業者の方(更新を希望される事業者を含む)は、11月1日(火)から平成29年2月9日(木)までの間に実施する入札参加資格審査を受ける必要があります。
希望される事業者の方は、ホームページの審査申請要領を確認の上、申請してください。
●申請書類／下記ホームページからダウンロード
㊐ 県契約課 ☎022(211)3335
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/

県立循環器・呼吸器病センター健康まつり

患者さんやそのご家族、地域の方々にセンターを身近に感じていただくために、「健康まつり」を開催します。メインステージでの催し物をはじめ、健康相談会、体験コーナーなど楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひ皆さんでいらしてみませんか。
●日時／9月10日(土)午前10時～午後3時
●場所／県立循環器・呼吸器病センター(栗原市)
㊐ 県立循環器・呼吸器病センター
☎0228(38)3151

県立がんセンター病院ボランティア募集

県立がんセンターでは、病院ボランティアを募集しています。自分の得意分野で活動したい方やボランティアに興味のある方は、ぜひご応募ください。
●活動場所／県立がんセンター(名取市)
●活動内容／患者さん用帽子作製・外来受付補助・病棟移動図書・花のアレンジなど
●活動時間／月曜から金曜(祝日・休日を除く)の午前8時30分から午後3時までの時間帯で、週1回2時間程度
●応募期限／9月30日(金)
㊐ 県立がんセンター ☎022(384)3151

企画／県広報課

廃棄物の不法投棄はやめましょう
～きれいなふるさとを残すために～

私たちの日常生活や事業活動からは、毎日、大量の廃棄物が発生しています。その一部が、心ない人たちによって、山間部や河川などへ捨てられる事例が後を絶ちません。また、ルールを守らずに廃棄物を不適正に処理している事例も多く見られます。
廃棄物の不法投棄や不適正な処理は、自然環境を損なうだけでなく、悪臭や地下水の汚染などにより、私たちの健康や生活環境にさまざまな影響を及ぼします。
一人一人が廃棄物処理のルールをしっかりと守り、美しいふるさと・宮城の自然環境を将来に残していきましょう。

主な取り組み

9月は廃棄物不法投棄防止強化月間
県では、9月を廃棄物不法投棄防止強化月間として、不法投棄の未然防止に向けたさまざまな対策を強化して実施します。

巡回広報
不法投棄防止の啓発を図るため、広報車による巡回を実施しています。

県境パトロール
隣接する各県と連携し、県境付近をパトロールすることにより、監視の目を隅々まで行き渡らせています。

廃棄物運搬車両の一斉検問
産業廃棄物は県境を越えて処理されることも多いため、隣接する県などと、一斉検問を行っています。

産廃Gメンによる監視活動
産廃Gメンを各保健所などに配置し、監視活動を行っています。

スカイパトロール
地上での把握が困難な不法投棄を早期に発見するため、ヘリコプターで空からのパトロールを実施しています。

不法投棄の情報提供協定を締結
不法投棄されやすい山間部などで事業活動を行っている団体や企業との間で、不法投棄の情報提供に関する協定を締結しています。

不法投棄をすると厳しい罰則が!
不法投棄した場合、5年以下の懲役または1000万円以下の罰金もしくはこれらの併科などの厳しい罰則が設けられています(法人の場合は3億円以下の罰金刑)。

不法投棄は重大犯罪です!
廃棄物の不法投棄を発見したら、お住まいの市町村、最寄りの保健所または下記までご連絡ください。
㊐ 県循環型社会推進課 TEL 022(211)2467　FAX 022(211)2390
Eメール　sanpai110@pref.miyagi.jp